

# マナーを守って 住みよいまちに！

▼歩道にすらりと止められているたくさんの自転車



▲燃やせるごみと燃やせないごみ、それに大型ごみと一緒に出されています。これでは、この日収集されなかったごみが残り、地域の美観を損ねてしまいます

自分たちのまちを、より住みよいまち  
にしたい。こんな願いは誰もが抱いて  
いることでしょう。区内には、こうした  
願いを、実際に活動に取り組むことで実  
現しようとしている人たちがいます。

今月はこうした活動の紹介を通して、  
私たち一人ひとりがマナーを守ることの  
大切さを考えてみましょう。

## 花のある美しい歩道 を夢見ている

皆さんは、自転車が歩道にあふ  
れ、歩行者が歩きにくい思いをし  
ていたり、まちの景観が損われた  
りしている光景を見かけることは  
ありませんか？ 地下鉄北24条駅周  
辺の通りもそのような光景を見か  
ける場所の一つです。

この通りに花を飾り、まちの魅  
力を高めようとして取り組みを始めた  
団体があります。それは、スロー  
ライフイン24(ニーヨン)実行委員  
会の皆さんです。同実行委員会は、  
「花と食で街づくり」をテーマにま  
ちづくりに取り組もうと、北24条  
地区の商店街や料飲店協会、それ  
に町内会や地域の小学校、学生な  
どが協力して結成した組織です。

同実行委員会ではまず、地域の  
人たちに花の苗の育成とお世話の  
協力を呼び掛けました。その結果、  
たくさんの人やお店から協力の申  
し出があり、その人たちによって  
大切に育てられた花を植えたブラ  
ンターが、この地域の通りを美し



▲北24条通りに飾られた花々。その前  
は駐輪もなく、すっきりとしています

く飾りました。

この活動に中心となって取り組  
んだ同実行委員会フラワー部会長  
の宇野俊光さんは、「通りに花を  
飾る上で問題となったのは、歩道  
に止めてある自転車でした」と打  
ち明けてくれました。そこで宇野  
さんたちは、区の協力を受けて地  
下鉄駅の近くに臨時駐輪場を開設  
しました。そして、歩道に駐輪し  
てある自転車一つひとつに、臨時  
駐輪場の利用をお願いするピラを  
取り付けました。すると数日後に  
は、少しずつ臨時駐輪場の利用が  
増え、ほとんどの人が花が飾られ  
ている場所での駐輪を控えてくれ  
るという変化が現れたそうです。

「駐輪が減ると、もっと多くの  
花を飾ることができ、通りの魅力  
はより高まります。そうなれば、  
地域の人やお店はさらに花を飾っ  
てくれるかもしれません。そして、  
それがまた駐輪を減らすという循  
環が生まれてくれることを期待し



▲自転車に臨時駐輪場の利用を呼び掛けるピラを  
取り付ける宇野さん(右)たち